

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月4日

会社名 株式会社SBI証券 URL <https://www.sbisec.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）高村 正人
 問合せ先責任者 （役職名）取締役 （氏名）杉本 孝元 TEL 03-5562-7210
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	207,183	16.1	178,639	12.3	66,560	10.0	69,828	16.5	44,687	14.8
2025年3月期第3四半期	178,426	17.6	159,131	16.3	60,489	13.8	59,955	10.9	38,931	7.5

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 47,667百万円（19.0％） 2025年3月期第3四半期 40,051百万円（8.3％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	12,303 35	—
2025年3月期第3四半期	10,718 49	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第3四半期	8,369,601	301,727	3.6	81,936 89
2025年3月期	7,125,367	255,860	3.5	68,940 70

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 297,607百万円 2025年3月期 250,403百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0 00	—	0 00	13,765 91
2026年3月期	—	0 00	—		

（注1）当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

（注2）当社は2025年3月21日を基準日として配当を行っておりますが、その内訳は以下のとおりであります。

基準日	2025年3月21日	合計
1株当たり配当額	13,765円91銭	13,765円91銭
配当総額	50,000百万円	50,000百万円

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

当社グループの主たる事業である証券業の業績は株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、業績予想を行うことが困難であることから、開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	3,632,161株	2025年3月期	3,632,161株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	一株	2025年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	3,632,161株	2025年3月期3Q	3,632,161株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(経営成績に関する説明)

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が堅調に推移し、景気は緩やかな回復基調を維持しました。企業全体で景況感は総じて良好であるものの、生産は横ばい圏で推移し、米国の通商政策の影響が一部で表れる中、企業収益の改善テンポは落ち着きがみられました。年末にかけては、物価上昇率は安定し、名目賃金の堅調な推移が家計の下支え要因となる反面、外需の弱さや海外政策動向を巡る不確実性が意識されました。金融資本市場では利上げ観測を受けた長期金利が上昇するなど、市場環境の変化を注視する局面となっております。

世界経済は、企業活動の持ち直しの動きがみられるものの、物価と地政学要因により成長の振れが大きくなりやすい状況が続きました。米国では高金利の影響が残るものの、個人消費は底堅さを維持し、設備投資も安定的に推移しましたが、消費の伸びは緩やかとなり利下げ観測に市場は反応しやすい状況です。欧州では小康状態が続く中、政治リスクやインフレ下振れが重石となり、中国では内需の回復が鈍く、通商摩擦への懸念も意識されます。ロシア・ウクライナ戦争の長期化や中東情勢の緊迫化により資源供給の不確実性が高まり、物価・景況感や金融市場の変動要因となっております。

外国為替市場は、対ドルの円相場を中心に、米国の金融政策見通しと日銀の政策修正観測が交錯し、方向感を探る展開となりました。4月に139円台後半まで円高となった後、日銀の利上げ観測後退を背景に円安が進み、11月には157円台後半までドル高・円安が進行しました。その後は、米国指標の下振れや日銀高官の金融引き締めを示唆する発言を受けて12月初旬に154円台後半へ反転するなど、材料が交錯する中で上下動を伴いました。総じて、金利差要因に左右されつつも円安基調が優勢となった一年となりました。

日経平均株価は、米国の政策動向を巡る不透明感を背景に春先は値動きが荒く、4月7日には年初来安値の3万1,136円58銭を付けました。その後は生成AI需要拡大への期待などを受けた半導体関連株の上昇や円安基調も追い風となり回復基調をたどり、9月末には4万4,932円63銭まで上昇しました。10月は日銀の早期利上げ観測後退や国内外の主力企業の堅調な決算を手掛かりに買いが一段と強まり、節目の5万円台へ乗せて史上最高値圏へと水準を切り上げ、10月31日には過去最高値の5万2,411円34銭を付けました。その後は上昇の反動や外部環境への警戒から調整したものの、12月は5万円を挟んで下値の堅さを保ち、年末終値は前年末比1万444円94銭(26.18%)高の5万339円48銭となりました。年間を通じては過去最大の上げ幅となり、2025年の取引を終えました。

こうした経済環境のもと、当社におきましては「顧客中心主義」に基づいた魅力ある商品・サービス・手数料体系の提供に努めた結果、2025年12月末の預り資産は57兆6,811億円となりました。

業績に関しましては、信用取引の増加や有価証券貸借取引の増加により「金融収益」は85,658百万円(前年同期比39.8%増)、また、投資信託の代行手数料やアドバイザー業務手数料の増加により「その他の受入手数料」は45,767百万円(同12.3%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益207,183百万円(同16.1%増)、純営業収益178,639百万円(同12.3%増)、営業利益66,560百万円(同10.0%増)、経常利益69,828百万円(同16.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益44,687百万円(同14.8%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間の主な取り組みは以下のとおりであります。

- ・POマイレージの提供を開始(2025年5月)
- ・JCBオリジナルシリーズでのクレジットカード投信積立サービスの提供を開始(2025年5月)
- ・海外出国時の継続保有可能商品の拡充(2025年5月)
- ・SBI FX、200万口座を達成(2025年6月)
- ・総合金融サービスOliveの新たな資産運用サービスの提供に向けてSMBCグループと業務提携を公表(2025年6月)
- ・2025年度JCSI(日本版顧客満足度指数)調査にて、9年連続となる「証券業種」顧客満足度第1位を獲得(2025年6月)
- ・預り資産残高50兆円を突破(2025年6月)
- ・「J.D. パワー2025年NISA顧客満足度調査SM」<ネット証券部門>3年連続1位、「J.D. パワー2025年個人資産運用顧客満足度調査SM」<ネット証券部門>総合満足度ランキング1位を受賞(2025年7月)
- ・「SBIラップ」残高1,500億円を突破(2025年7月)
- ・取引所CFD「くりっく株365」、100万口座を突破(2025年7月)
- ・外貨建債券残高1兆円を突破(2025年7月)
- ・SBIマネープラザ株式会社、株式会社400Fと資本業務提携に向けた基本合意を締結(2025年7月)
- ・投資信託の預り残高20兆円を突破(2025年8月)
- ・SBI新生銀行とSBIマネープラザによる共同店舗の預り資産残高5,000億円を突破(2025年8月)

- ・ SMBCグループの金融商品仲介口座による投信残高2兆円を突破（2025年8月）
- ・ 暗号資産等に対応した店頭CFDサービス（SBI CFD）の提供を開始（2025年8月）
- ・ セキュリティトークンのセカンダリーマーケット（二次流通市場）取引におけるステーブルコインを活用したDvP決済に係る実証プロジェクトを開始（2025年8月）
- ・ HDI-Japan「問合せ窓口格付け」および「Webサポート格付け」において「三つ星」を獲得（2025年9月）
- ・ SBIグループとSMBCグループとの合併による新会社「株式会社Oliveコンサルティング」を設立（2025年9月）
- ・ 証券会社が運営する公式YouTubeチャンネル登録者数No. 1の「ビジネスドライブ！」にてチャンネル登録者数50万人を突破（2025年9月）
- ・ SBI新生銀行との預り金自動スweepサービス「SBIハイパー預金」の提供を開始（2025年9月）
- ・ auフィナンシャルグループとのリテール分野における業務提携を開始（2025年9月）
- ・ 株式会社Ridge-iと次世代の生成AIチャネル開発に向けた協業を開始（2025年9月）
- ・ 国内初となる、ブロックチェーン技術を活用した個人投資家向けプライベートエクイティファンド投資商品を開発（2025年9月）
- ・ 業界初となる「e-iDeCo（iDeCo各種手続きオンライン申請）」サービスの提供を開始（2025年10月）
- ・ 「かんたん積立アプリ」のデザインリニューアルを実施（2025年11月）
- ・ 株式会社東北銀行との入金サービス「東北銀行 リアルタイム入金」の提供を開始（2025年11月）
- ・ 「第28回企業電話対応コンテスト」にて国内唯一となる4年連続、通算6度目の「会長賞」受賞及び「ゴールドランク企業」認定（2025年11月）
- ・ 国内初となる証券総合口座1,500万口座を達成（2025年11月）
- ・ PC版FX取引ツール『HYPER SBI FX』の提供を開始（2025年11月）
- ・ 投資信託「定期売却サービス」機能を拡充（2025年12月）
- ・ SBI新生銀行との連携サービス「SBIハイパー預金」が残高5,000億円を突破（2025年12月）
- ・ 預り資産残高60兆円を突破（2025年12月）
- ・ 「SBIラップ」第4弾、三井住友DSアセットマネジメントが投資助言を行う「SBIラップ ALL株式コース」の提供を開始（2025年12月）
- ・ 国内初のトークン化預金によるセキュリティトークン決済の実発行検証に関する協業を開始（2025年12月）

また、業績の概要は以下のとおりであります。

（受入手数料）

当第3四半期連結累計期間は80,941百万円（前年同期比14.8%増）を計上しておりますが、その内訳は以下のとおりであります。

・ 委託手数料

主にインターネット及び対面による株式取引により23,876百万円（同6.4%増）を計上しております。

・ 引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料

株式及び債券の引受け等により5,250百万円（同39.7%増）を計上しております。

・ 募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料

引き受けた株式の販売等により6,047百万円（同70.7%増）を計上しております。

・ その他の受入手数料

投資信託の代行手数料及びアドバイザー業務手数料等により45,767百万円（同12.3%増）を計上しております。

（トレーディング損益）

FX収益及び外債販売に係る収益等により40,560百万円（同13.0%減）を計上しております。

（金融収支）

信用取引の増加及び国内金利上昇による受取利息の増加により「金融収益」は85,658百万円（同39.8%増）、「金融費用」は21,083百万円（同78.7%増）となりました。その結果、金融収支は64,575百万円（同30.5%増）となっております。

（販売費及び一般管理費）

当第3四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は112,079百万円（同13.6%増）となりました。これは、顧客の有価証券取引の増加により「取引関係費」が32,586百万円（同12.4%増）となったこと及び従業員給料の増加により「人件費」が19,849百万円（同13.4%増）となったこと等によるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	701,437	1,183,186
預託金	3,121,789	3,686,945
顧客分別金信託	2,785,356	3,276,975
その他の預託金	336,433	409,969
トレーディング商品	528,962	655,463
商品有価証券等	423,250	516,498
デリバティブ取引	105,711	138,964
約定見返勘定	40,561	60,408
信用取引資産	2,024,917	2,015,214
信用取引貸付金	1,807,983	1,902,438
信用取引借証券担保金	216,933	112,776
有価証券担保貸付金	158,751	160,544
借入有価証券担保金	158,553	150,744
現先取引貸付金	197	9,800
立替金	698	949
短期差入保証金	121,829	128,918
支払差金勘定	6,631	3,499
前払費用	2,026	3,169
未収収益	42,256	47,922
その他	225,226	273,245
貸倒引当金	△408	△516
流動資産合計	6,974,680	8,218,948
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,784	2,918
工具、器具及び備品（純額）	2,368	2,342
土地	2,164	2,164
リース資産（純額）	196	60
有形固定資産合計	7,515	7,485
無形固定資産		
のれん	128	3,042
借地権	0	0
ソフトウェア	32,190	36,939
ソフトウェア仮勘定	12,182	10,623
リース資産	—	7
その他	10	3,395
無形固定資産合計	44,511	54,009
投資その他の資産		
投資有価証券	70,768	65,906
出資金	18	16
長期差入保証金	2,297	2,625
長期前払費用	1,567	1,996
繰延税金資産	11,444	9,662
その他	14,883	11,314
貸倒引当金	△2,319	△2,365
投資その他の資産合計	98,660	89,157
固定資産合計	150,687	150,652
資産合計	7,125,367	8,369,601

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	200,116	208,384
商品有価証券等	149,726	125,896
デリバティブ取引	50,390	82,487
信用取引負債	528,170	557,418
信用取引借入金	174,907	202,314
信用取引貸証券受入金	353,263	355,104
有価証券担保借入金	1,220,771	1,364,389
有価証券貸借取引受入金	1,200,571	1,294,389
現先取引借入金	20,200	70,000
預り金	2,049,160	2,777,084
受入保証金	1,297,622	1,559,207
有価証券等受入未了勘定	46	399
短期社債	462,689	393,557
短期借入金	838,600	856,106
1年内償還予定の社債	8,673	8,520
リース債務	263	102
未払金	18,271	10,016
未払費用	10,470	13,852
未払法人税等	8,991	4,496
前受金	29,100	52,045
賞与引当金	441	315
役員賞与引当金	—	15
その他	1,863	4,572
流動負債合計	6,675,254	7,810,483
固定負債		
社債	98,477	99,507
長期借入金	68,500	125,958
リース債務	397	325
長期預り保証金	78	57
資産除去債務	1,020	1,094
繰延税金負債	4	1,087
その他	—	1
固定負債合計	168,479	228,032
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	25,773	29,356
商品取引責任準備金	0	0
特別法上の準備金合計	25,773	29,357
負債合計	6,869,507	8,067,873
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,323	54,323
資本剰余金	76,732	76,363
利益剰余金	119,496	164,184
株主資本合計	250,552	294,871
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,004	△180
為替換算調整勘定	1,856	2,917
その他の包括利益累計額合計	△148	2,736
新株予約権	—	171
非支配株主持分	5,456	3,948
純資産合計	255,860	301,727
負債純資産合計	7,125,367	8,369,601

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業収益		
受入手数料	70,493	80,941
委託手数料	22,445	23,876
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘 等の手数料	3,759	5,250
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等 の取扱手数料	3,542	6,047
その他の受入手数料	40,746	45,767
トレーディング損益	46,624	40,560
金融収益	61,288	85,658
その他の営業収益	19	23
営業収益計	178,426	207,183
売上原価		
金融費用	11,795	21,083
その他	7,499	7,460
売上原価合計	19,295	28,544
純営業収益	159,131	178,639
販売費及び一般管理費		
取引関係費	28,990	32,586
人件費	17,507	19,849
不動産関係費	14,389	16,746
事務費	23,115	24,739
減価償却費	6,651	8,763
のれん償却額	4	128
租税公課	2,601	3,621
貸倒引当金繰入れ	149	140
その他	5,232	5,502
販売費及び一般管理費合計	98,642	112,079
営業利益	60,489	66,560
営業外収益		
受取利息	295	273
受取配当金	9	61
為替差益	—	1
投資事業組合運用益	359	3,735
持分法による投資利益	1	—
その他	60	138
営業外収益合計	726	4,210
営業外費用		
支払利息	54	107
為替差損	21	—
持分法による投資損失	—	19
投資事業組合運用損	298	106
支払手数料	825	693
その他	61	15
営業外費用合計	1,260	943
経常利益	59,955	69,828

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,705
固定資産売却益	—	247
その他	—	38
特別利益合計	—	6,991
特別損失		
固定資産除却損	8	242
金融商品取引責任準備金繰入れ	3,149	3,583
支払補償金	—	9,013
特別損失合計	3,157	12,838
税金等調整前四半期純利益	56,798	63,980
法人税、住民税及び事業税	17,900	18,215
法人税等調整額	△461	983
法人税等合計	17,439	19,199
四半期純利益	39,359	44,780
非支配株主に帰属する四半期純利益	427	93
親会社株主に帰属する四半期純利益	38,931	44,687

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	39,359	44,780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	193	1,823
為替換算調整勘定	498	1,063
その他の包括利益合計	692	2,886
四半期包括利益	40,051	47,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,622	47,573
非支配株主に係る四半期包括利益	428	94

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、「投資・金融サービス業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。